

「未来の杜せんだい 2023」終了後の取り組みについて

令和5年4月26日から54日間にわたって開催した第40回全国都市緑化仙台フェア「未来の杜せんだい 2023」では、造園団体をはじめとした多くの事業者や市民の皆さまに会場の花壇づくりや植物の維持管理、会場運営などにご協力いただきました。

仙台フェアを契機として、多様な主体との連携による都市緑化の推進を新たな「百年の杜づくり」に繋がられますよう継続して取り組みを進めてまいります。

1. フェア終了後のレガシーイベント

フェア会場花壇の一部については、レガシーとしてフェア終了後も残すこととし、植え替え等のメンテナンスを事業者や市民の皆さまとともに実施しました。

また、新たな担い手の育成を目的に、花みどりに関する活動経験がない方でも気軽に参加しやすいイベントとして、花苗生産地の見学バスツアーやハンギングバスケットづくり研修会も開催しました。

(1) 宮城野通ウェルカムストリートづくり

日時：10月29日（日）

内容：地域の子どもたちや仙台駅東まちづくり協議会等の参加によるプランター植え替え



(2) 青葉山公園追廻地区「もりと風のガーデン」植え替え

日時：11月15日（水）

内容：フェアを契機に結成された市民団体によるレガシー花壇の植え替え



(3) 仙台駅ペDESTリアンデッキウェルカムガーデンづくり

日時：12月3日（日）

内容：緑の活動団体（一社）「花降る街、仙台」との協働による花壇の捕植とメンテナンス



(4) フェアで使用した花苗の生産地見学会

日時：11月25日（土）

内容：亘理町の花苗生産地見学と寄せ植え体験を行うバスツアー



(5) ハンギングバスケットづくり研修会（仙臺緑彩館）

日時：12月17日（日）

内容：フェア会場を彩ったハンギングバスケットづくりの研修会



※ 青葉山公園追廻地区を会場として、令和6年3月に市民の皆さまが参加しての「たねダンゴ花壇づくり」、4月にはフェア1周年イベントの実施を予定しています。

